

根っからの新し物好き、熱しやすく、冷めやすい、一方で凝るタイプ。好奇心が旺盛で、すぐ飛びつくが、あきらめも早い。従って趣味は、質より量、浅く広い。多趣味といえば聞こえはいいが、つまみ食いのようなもので趣味に申し訳ない。今の趣味をまとめると、「パソコン・楽器・カラオケ・物書きに、最近水彩画が加わった」。

1. パソコン歴はザッと30年。現在3台のパソコンを操る。パソコンがないと身動きが取れないほど日常生活に密着している。パソコンでくらしを演じる、自称「パソコン芸人」。ホームページ歴20年、フェイスブック、ツイッター、YouTube投稿など一通り実践中。スマホ歴は10年。iPhoneにずっと縛られて現在「8s-plus」。タブレットも「iPad」3代目。「Apple-watch」は初代を使用中。完全にappleに縛られている。このAppleトリオの連携は何かと便利。これからの「ネット・スマホ・キャッシュレス社会」も怖くない。

2. 楽器は、これまで挑戦してきたもの15種類。現役は、電子ピアノ、キーボード、ウインドシンセサイザー（電子吹奏楽器）、バイオリン、ギター。バイオリンだけは3年間個人レッスンに通ったが道半ば。全く歯が立たなかったのが、トランペット、フルート、尺八。次は「アコーディオン」が待っている。楽器は、呆けないための、い〜いクスリ。仲間とボランティア楽団を組んで、老人施設などへの慰問活動が10年以上続いている。

3. カラオケは、生来の音楽好きの自然の流れ。喉も一種の楽器と思っている。歌よりも、新曲をいち早くネットでゲットして覚えるのが得意。大会で歌うときは、出来るだけ歌詞を全部覚え、モニターを見ないで歌うように心がけている。脳トレにもなって一石二鳥。カラオケで出る「幸せホルモン」が認知症を予防するという。

4. 物書きは、昔のメールマガジンが始まり。ネットで公開すると、すぐに反応が返ってきてハマった。体験記やらを公開するうち、ネット読者からの後押しもあって自費出版し、自治体や施設から講演依頼が飛び込んできて思わぬ体験をした。今ホームページ等で思いつくまを投稿している。本稿もその一環。文章を書くことは、最強の「脳トレ」と言われる。

5. 水彩画は、昔、画材や教材を揃えてやり始めたが、肝心のデッサンが思うようにいかず半ばあきらめていた。最近「トレース水彩画」という画法に出会い飛びついた。これだとデッサンはトレース（なぞり）なので誰でも上手く描ける。突然絵が上手くなったような気分になる。これからせいぜい身近な写真を撮って、絵にして楽しもうと思う。

---

これらの趣味を見ると、なんだか不健康そうだと思われるかも知れない。心配されるのが、運動不足。家の中の居場所はパソコンの前なので、すぐパソコンに手がいってしまう。そこで週に1日「ノーパソコン・デー」を設けてみたが続かない。パソコン中毒かも知れない。

そこで、今、毎日必ず実行しているのが、「階段の昇り降り」。現在の住まいがマンションの16階なので、1日2回、朝の新聞と、夜の郵便物を1階まで受け取りにエレベーターを使わず、階段を使っている。ただ、今年腰痛に見舞われたので今は半分の8階にしている。階段は、時間もお金もかからない、絶好の「ジム」だ。これも趣味か。

結局、多趣味が趣味なのかも知れない。好きなことをしていると心が刺激され、癒され満たされる。せいぜい好きなことをしよう。今一番欲しいのは、『時間』。(2019/10/01)